

1. 実施機関名

国立大学法人琉球大学

2. 企画名

津梁と融合の未来創造人材育成プログラム「琉大カガク院」

3. 総合評価コメント

前企画で構築したコンソーシアムを発展させ、学内に設置した専門部会と、県教委や沖縄美ら島財団、さらには多彩な協力機関が参画する連絡協議会が連携をはかり、琉大カガク院だけでなく、琉大ハカセ塾や琉球リケジョも併せて体系的な人材育成事業を展開している点は評価できる。また、効果的な広報活動を通して、県外を含め広範囲から応募者を集め卓越した才能がある生徒を発掘している点も良い。基礎から応用まで様々な内容のレベルの高い講座を提供すると同時に、講義によっては動画による事前学習や、アクティブ・ラーニング形式も取り入れるなど、教育効果を上げるような工夫が見られる。さらに、オンライン型の国際シンポジウムを開催することで、受講生が第一段階で海外の研究者等と交流を図るなど国際性の付与についても考えられている。学会や科学技術コンテストなどにも積極的に参加し、多くの受講生が研究成果を発表している。受講生の能力を琉大ハカセ塾と同様の観点で評価することによって、能力の伸長度や変化を長期に渡ってモニタリングすることを可能としている。

一方、修了生の追跡調査や参加率の男女差を生じる要因等について分析を進め、人材育成プログラムの更なる改善につなげてほしい。また、琉大ハカセ塾等との連携、魅力的な講義の開催、オンライン型の国際シンポジウムの開催など、他機関のモデルとなる取組の普及・展開を進めていただきたい。